2026年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年８月８日

上 場 会 社 名	ムトー精工株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	7927	URL	https://www.muto.co.jp
代　　表　　者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名)	田中　肇
問合せ先責任者	(役職名) 取締役財務担当	(氏名)	金子　貞夫　(TEL) 058(371)1100
配当支払開始予定日	―		
決算補足説明資料作成の有無	：無		
決算説明会開催の有無	：無		

(百万円未満切捨て)

１．2026年３月期第１四半期の連結業績（2025年４月１日～2025年６月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年３月期第１四半期	7,062	8.0	537	21.4	618	△12.4	418	△12.4
2025年３月期第１四半期	6,540	1.5	443	34.7	706	42.3	477	46.6

(注) 包括利益　2026年３月期第１四半期　△52百万円(　　－%)　2025年３月期第１四半期　1,328百万円(　　7.3%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年３月期第１四半期	59.76	―
2025年３月期第１四半期	67.29	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年３月期第１四半期	30,886	18,647	57.3
2025年３月期	31,027	19,309	59.2

(参考) 自己資本　2026年３月期第１四半期　17,705百万円　　2025年３月期　18,374百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年３月期	―	20.00	―	74.50	94.50
2026年３月期	―				
2026年３月期(予想)		30.00	―	60.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2026年３月期の連結業績予想（2025年４月１日～2026年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,500	△7.5	2,250	9.9	2,250	△12.8	1,580	4.6	225.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　―　社（社名）　　、除外　―　社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（注）詳細は、添付資料８ページ「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年３月期１Ｑ	7,739,548株	2025年３月期	7,739,548株
②　期末自己株式数	2026年３月期１Ｑ	769,187株	2025年３月期	711,155株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年３月期１Ｑ	7,000,361株	2025年３月期１Ｑ	7,096,293株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 9
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第１四半期連結累計期間における国内外の経済は、日本においては雇用環境の改善や訪日観光客の増加による消費の回復が見られるなど、経済活動の活性化が進んでおります。しかしながら、物価高の継続、世界経済の下振れ懸念、関税をはじめとする米国政策の不透明性が見られるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社を取り巻く業界におきましては、家電分野では、デジタルカメラカテゴリーにおいて付加価値の高いミラーレスカメラの需要が好調で、当社ではタイでデジタルカメラ部品の受注が増加を続けております。自動車関連部品では、米国の関税政策の動向により先行きに不透明感があるものの、得意先からの受注は回復傾向にあります。プリンター部品におきましては、得意先からの受注が前期に引き続き好調に推移しております。電子ペン部品では、ペーパーレス化の導入拡大などを背景に、一定の受注を維持しております。医療機器関連では、高齢化社会を背景とした医療ニーズの高まりに伴い、得意先から安定的に受注を獲得しております。

その結果、当第１四半期連結累計期間における業績は、売上高は70億６千２百万円と前年同四半期と比べ５億２千２百万円(8.0%)の増収、省人化・省力化を図り、固定費をはじめとした経費削減に努めたことにより、営業利益は５億３千７百万円と前年同四半期と比べ９千４百万円(21.4%)の増益、円高の進行に伴い為替差益が１億７千３百万円減少したことなどにより、経常利益は６億１千８百万円と前年同四半期と比べ８千７百万円(12.4%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は４億１千８百万円と前年同四半期と比べ５千９百万円(12.4%)の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、前連結会計年度において精密プレス部品事業に分類しておりましたタチバナ精機株式会社の全株式を譲渡し、連結の範囲から除外したことに伴い、当第１四半期連結会計期間より精密プレス部品事業を当社グループの報告セグメントから除外しております。

① プラスチック成形事業

当セグメントにおきましては、円高の進行による減収が生じたものの、デジタルカメラ部品や自動車関連部品、金型における受注増加に伴い、プラスチック成形事業全体の売上高は増加いたしました。また、省人化・省力化を図り経費削減に努めたことにより、増益となりました。その結果、当第１四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて68億９千８百万円と前年同四半期と比べ６億５千５百万円(10.5%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は４億６千５百万円と前年同四半期と比べ４千３百万円(10.3%)の増益となりました。

② プリント基板事業

当セグメントにおきましては、設計部門では、セラミック基板の得意先からの受注減少に伴い、減収となりました。一方、検査部門におきましては、自動車向けの各種センサーなどのセラミック基板の検査が好調で、大幅な増収となりました。その結果、当第１四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて１億６千５百万円と前年同四半期と比べ５千５百万円(50.8%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は７千２百万円と前年同四半期と比べ３千４百万円(93.2%)の増益となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

当第１四半期連結会計期間末の財政状態は、流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ０百万円減少し、199億１千万円となりました。現金及び預金が４億９千４百万円、その他(流動資産)が１億１百万円それぞれ減少し、受取手形及び売掛金が３億９千２百万円、電子記録債権が１億７千１百万円それぞれ増加したことなどが主な要因です。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ１億４千万円減少し、109億７千６百万円となりました。有形固定資産が１億２千万円減少したことなどが主な要因です。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ１億４千万円減少し、308億８千６百万円となりました。

また、流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ７億７千５百万円増加し、88億４千９百万円となりました。支払手形及び買掛金が５億４千４百万円、短期借入金が３億２百万円それぞれ増加し、賞与引当金が１億２千１百万円減少したことなどが主な要因です。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ２億５千４百万円減少し、33億８千９百万円となりました。長期借入金が２億２千４百万円減少したことなどが主な要因です。

この結果、負債の部は、前連結会計年度末に比べ５億２千１百万円増加し、122億３千９百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ６億６千２百万円減少し、186億４千７百万円となりました。利益剰余金が１億５百万円、為替換算調整勘定が４億８千２百万円それぞれ減少したことなどが主な要因です。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年３月期の連結業績予想につきましては、2025年５月13日に公表いたしました「2025年３月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の内容より変更はありません。

当期の見通しにつきましては、国内外で景気の回復が維持されることが期待されるものの、米国政策動向による世界経済の減速、物価高の維持による消費意欲の減少など景気の下振れも懸念され、不確実性の高い経営環境が続くことが見込まれます。また、今後の為替相場の動向は、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

このような状況の中、当社グループは、柔軟な生産体制を構築し事業環境の変化に備えると同時に、顧客各社の動向を注視し着実な受注活動を行い、世界情勢による様々なリスクに対応していく所存であります。

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって変動する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2025年６月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,367,739	9,873,109
受取手形及び売掛金	4,742,480	5,134,807
電子記録債権	450,734	622,688
有価証券	－	40,380
商品及び製品	824,731	755,409
仕掛品	1,182,021	1,112,378
原材料及び貯蔵品	1,712,002	1,798,608
未収入金	94,863	138,396
その他	536,239	435,004
貸倒引当金	△645	△645
流動資産合計	19,910,168	19,910,138
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,614,798	4,497,039
機械装置及び運搬具（純額）	2,665,253	2,675,241
土地	2,055,887	2,058,789
リース資産（純額）	275,928	271,409
建設仮勘定	100,244	132,136
その他（純額）	581,043	537,599
有形固定資産合計	10,293,155	10,172,216
無形固定資産	236,810	219,915
投資その他の資産		
投資有価証券	303,414	308,481
繰延税金資産	107,671	104,711
その他	175,952	171,032
貸倒引当金	△125	△125
投資その他の資産合計	586,914	584,100
固定資産合計	11,116,881	10,976,233
資産合計	31,027,049	30,886,371

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2025年６月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,842,258	2,386,270
電子記録債務	267,539	363,778
短期借入金	3,370,000	3,672,000
1年内返済予定の長期借入金	966,620	941,618
未払法人税等	244,920	274,511
賞与引当金	257,450	136,445
その他	1,124,425	1,074,556
流動負債合計	8,073,214	8,849,181
固定負債		
長期借入金	2,316,694	2,091,697
長期未払金	156,004	120,185
繰延税金負債	359,321	373,736
役員退職慰労引当金	26,628	27,453
退職給付に係る負債	358,872	358,913
関係会社整理損失引当金	152,315	147,517
その他	274,293	270,417
固定負債合計	3,644,129	3,389,919
負債合計	11,717,344	12,239,101
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,188,960	2,188,960
資本剰余金	2,253,246	2,253,246
利益剰余金	11,905,044	11,799,788
自己株式	△592,470	△678,903
株主資本合計	15,754,780	15,563,090
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	169,668	174,777
為替換算調整勘定	2,450,212	1,967,875
その他の包括利益累計額合計	2,619,880	2,142,653
非支配株主持分	935,044	941,526
純資産合計	19,309,704	18,647,270
負債純資産合計	31,027,049	30,886,371

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2024年４月１日 至 2024年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年６月30日）
売上高	6,540,865	7,062,952
売上原価	5,205,062	5,628,744
売上総利益	1,335,802	1,434,208
販売費及び一般管理費	892,735	896,304
営業利益	443,067	537,904
営業外収益		
受取利息	46,585	44,471
受取配当金	4,248	6,381
為替差益	215,445	41,884
その他	5,090	4,837
営業外収益合計	271,369	97,574
営業外費用		
支払利息	7,631	15,918
その他	1	561
営業外費用合計	7,632	16,480
経常利益	706,804	618,998
特別利益		
固定資産売却益	1,882	1,727
関係会社整理損失引当金戻入額	4,734	－
特別利益合計	6,616	1,727
特別損失		
固定資産売却損	817	2,504
固定資産除却損	1,477	－
特別損失合計	2,295	2,504
税金等調整前四半期純利益	711,125	618,221
法人税等	202,650	174,805
四半期純利益	508,474	443,416
非支配株主に帰属する四半期純利益	30,974	25,056
親会社株主に帰属する四半期純利益	477,500	418,359

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2024年４月１日 至 2024年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年６月30日）
四半期純利益	508,474	443,416
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,738	5,109
為替換算調整勘定	807,947	△500,880
その他の包括利益合計	819,686	△495,771
四半期包括利益	1,328,160	△52,355
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,240,974	△58,868
非支配株主に係る四半期包括利益	87,186	6,512

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用の計算

海外連結子会社の税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等の注記)

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間(自　2024年４月１日　至　2024年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	プラスチック成形事業	精密プレス部品事業	プリント基板事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,240,984	190,348	109,532	6,540,865	－	6,540,865
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,796	31,574	－	34,371	△34,371	－
計	6,243,781	221,922	109,532	6,575,236	△34,371	6,540,865
セグメント利益又は損失(△)	422,220	△16,475	37,321	443,067	－	443,067

(注)セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　2025年４月１日　至　2025年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	プラスチック成形事業	プリント基板事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,897,794	165,158	7,062,952	－	7,062,952
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,091	－	1,091	△1,091	－
計	6,898,886	165,158	7,064,044	△1,091	7,062,952
セグメント利益	465,781	72,122	537,904	－	537,904

(注)セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において「精密プレス部品事業」に分類しておりましたタチバナ精機株式会社の全株式を譲渡し、連結の範囲から除外したことに伴い、当第１四半期連結会計期間より「精密プレス部品事業」を当社グループの報告セグメントから除外しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 (自　2024年４月１日 至　2024年６月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自　2025年４月１日 至　2025年６月30日)
減価償却費	333,877千円	320,631千円